

現代イギリス「英語小説」における音楽: その意味と扱われ方

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Oyabu, Kana メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00063145

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



現代イギリス「英語小説」における音楽-その意味と扱われ方-

Research Project

All



Project/Area Number

14510510

Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research (C)

Allocation Type

Single-year Grants

Section

一般

Research Field

英語・英米文学

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

大藪 加奈 (大藪 香奈 / 大藪 加奈) 金沢大, 助教授 (30283146)

Project Period (FY)

2002 - 2005

Project Status

Completed (Fiscal Year 2005)

Budget Amount *help

¥2,500,000 (Direct Cost: ¥2,500,000)

Fiscal Year 2005: ¥300,000 (Direct Cost: ¥300,000)

Fiscal Year 2004: ¥800,000 (Direct Cost: ¥800,000)

Fiscal Year 2003: ¥800,000 (Direct Cost: ¥800,000)

Fiscal Year 2002: ¥600,000 (Direct Cost: ¥600,000)

Keywords

アジアン・ラップ / アジアン・ダブ・ファウンデーション / ファン・ダ・メンタル / ハニフ・クレイシ / 政治的メッセージ / アパッチ・インディアン / コミュニティー・ミュージック / 差別 / 現代イギリス文学 / 音楽 / 異文化 / バングラ / ミーラ・シャール / ベッカムに恋して / 英語文学 / イギリス / 多文化 / 移民 / ポピュラー音楽 / 若者文化 / 70年代

Research Abstract

昨年度は主にパンジャブ系移民が主導権を持って広げていったバングラ音楽と文学の関係について研究したが、今年度はその他のインド系移民作家の作中に現れる音楽について研究した。一昨年度の歌詞中心、昨年度のリズム中心の精読から一歩すすみ、今年度は主題としての音楽を取り上げた。その過程で、Asian Dub FoundationやFun>Da>Mentalなど、イギリス

で活躍するインド系ラップバンドを中心に、「怒れる移民2,3世」の政治的メッセージと、文学テキストの政治的メッセージの表現方法について比較した。ダンス・ミュージックの形をとるアジア系バンドの音楽は、その挑発的メッセージとはうらはらに白人ユースを取り込む明るく乗りやすいサウンドになっている。それは、ミドルクラスが読者である文学テキストの持つ言葉の魅力に近い。ただ、コミュニティーに根ざした音楽バンドのメッセージに比べて、若者が主題のクレイシの文学テキストでさえ意識的には中流階級(ミドルクラス)でありながら差別の対象となっている自分の外見や存在と距離を置こうとする作家のスタンスが見え隠れしており、メッセージは直接的でないことがわかった。今年度は昨年度に引き続き、移民の子供たちのコミュニティー音楽活動について、エジンバラ市を中心に調査した。コミュニティー音楽活動は、Asian Dub Foundation等のバンドを輩出しており、英国の移民文化にとって特に大切であるといえる。そこでは、自分たちの文化に根ざした音楽を伝えようという動きと、それを現在のイギリスにいる自分たちの音表現に変えていこうとする綱引きが常に存在していることが確認された。

Report (3 results)

- 2004 Annual Research Report
- 2003 Annual Research Report
- 2002 Annual Research Report

Research Products (4 results)

All	2005	Other
All	Journal Article	Publications

[Journal Article] Stevens' Unhomely Home

2005 ▼

[Publications] 大藪 加奈: "Change of Time, Change of Tone"言語文化論叢. 8. 43-71 (2004)

▼

[Publications] 大藪 加奈: "異文化理解とコミュニケーション"金沢大学研究調査部報. 8. (2004)

▼

[Publications] 大藪 加奈: "異文化理解と表現"言語文化論叢. 7巻. (2003)

▼

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-14510510/>

Published: 2002-03-31 Modified: 2016-04-21